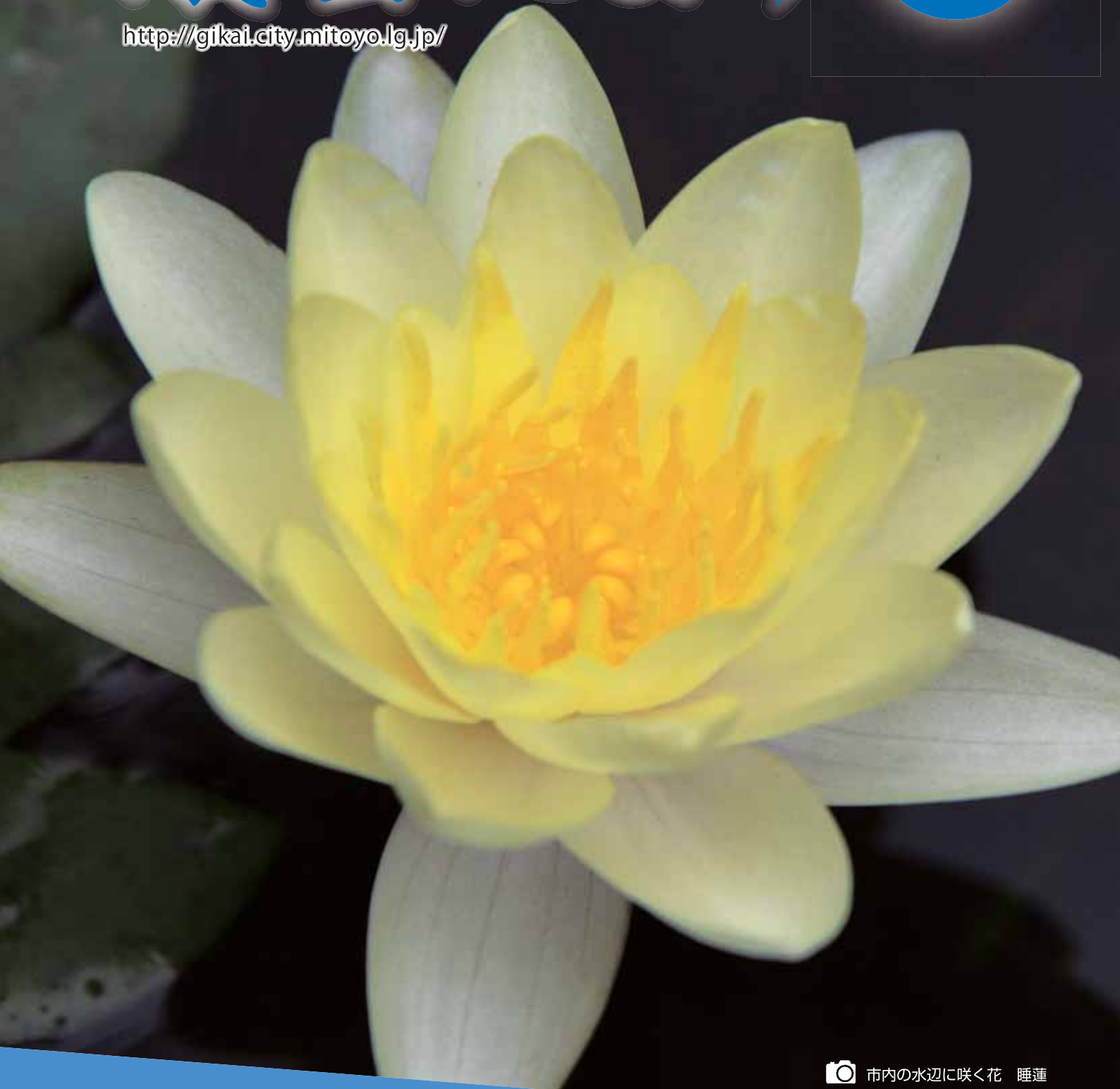


# 議会だより

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>



📷 市内の水辺に咲く花 睡蓮

## 6月定例会

- ②議案報告 ④審議結果 ⑤議会報告会 ⑧一般質問 ⑬常任委員会  
⑯三豊市に住んでみて

## 平成27年第2回 三豊市議会定例会

平成27年第2回三豊市議会定例会は、6月11日から30日まで20日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成27年度一般会計補正予算、介護保険事業特別会計補正予算、専決処分議案4件、条例に関する議案2件、香川県市町総合事務組合規約の一部変更9件、動産の買入れ1件、工事請負契約の締結2件、指定管理者の指定2件ならびに議員提出議案1件など合計23議案を承認・可決しました。その他、人事案件4件に同意し、意見書案1件を賛成少数で否決しました。

### 平成27年度補正予算 原案可決

一般会計	2,954万3千円 <span style="color: red;">増</span>
	総額359億1,954万3千円
介護保険事業特別会計	264万3千円 <span style="color: red;">増</span>
	総額73億5,264万3千円

#### 主な補正予算の内容

●総務省の「地域経済循環創造事業」や県の「心の交流事業」の事業採択を受け必要な予算を計上する。  
1,186万円

●子育て世帯商品券（国の平成26年度の交付金を活用し、就学前までの児童に支給）の実施に合わせ、市独自で新小学1年生（平成20年4月2日～平成21年4月1日生の児童）を対象に商品券を支給する。



626万6千円

●介護保険法の改正により、平成27年4月から公費を投入して低所得者の第1号保険料軽減強化を行うこととされ、その対応を講じる。

990万3千円

#### 専決処分

●税条例等の一部改正  
●国民健康保険税条例の一部改正

●介護保険条例の一部改正  
●臨時福祉給付金の誤支給事件の和解

専決処分したため、議会の承認を求めるもの

#### 条例制定

●地域子育て支援センター条例

地域の子育て機能の充実を図るため子育て支援の拠点として設置するもの

#### 条例改正

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

保育事業所内に勤務する「看護師」を「看護師又は准看護師」に改めるもの

#### その他

●香川県市町総合事務組合規約（三豊市・辻財産区・河内財産区・財田大野財産区・神

田財産区・大見財産区・高瀬財産区・桑山財産区・比地大財産区）の一部変更について

「小豆医療組合」を「小豆島中央病院企業団」に改めるなど規約の一部を変更するもの

●動産の買入れ  
情報システム機器の老朽化のためサーバー・パソコンなどを更新するもの

●工事請負契約の締結  
山本地区新設統合小学校（仮称）プール・付帯施設棟及び外構工事に係る工事請負契約を締結するもの

●工事請負契約の締結  
三野津中学校特別校舎棟ほか改築（建築）工事に係る工事請負契約を締結するもの

●指定管理者の指定  
父母ヶ浜海水浴場施設の指定管理者を指定するもの  
（株式会社城中建設へ）

●指定管理者の指定  
つたじま海水浴場施設及びキャンプ場の指定管理者を指定するもの  
（三豊市観光協会へ）

# 議 会 日 誌

## 4 月

- 2 2 日 建設経済常任委員会
- 2 7 日 総務教育常任委員会
- 3 0 日 議会運営委員会  
議会活性化特別委員会

## 5 月

- 7 日 民生常任委員会  
議会活性化特別委員会
- 1 2 日 議会活性化特別委員会
- 1 4 日 瀬戸内海地区議会競艇  
連絡協議会定期総会
- 1 8 日 総務教育常任委員会
- 2 0 日 香川県市議会議長会総会
- 2 1 日 議会活性化特別委員会  
全員協議会
- 2 6 日 建設経済常任委員会現地調査  
四国市議会議長会定期総会
- 3 0 日 議会報告会
- 3 1 日 議会報告会

## 6 月

- 1 日 全国自治体病院経営都市  
議会協議会定期総会
- 4 日 議会運営委員会
- 8 日 議会運営委員会
- 1 1 日 定例会  
議会活性化特別委員会
- 1 6 日 定例会(一般質問)  
議会広報委員会
- 1 7 日 全国市議会議長会総会
- 1 8 日 定例会(一般質問)
- 1 9 日 定例会(一般質問)
- 2 3 日 建設経済常任委員会
- 2 4 日 総務教育常任委員会  
民生常任委員会
- 2 6 日 議会運営委員会  
全員協議会
- 3 0 日 定例会  
議会活性化特別委員会

## 7 月

- 1 0 日 議会広報委員会
- 1 5 日 議会広報委員会
- 2 1 日 議会活性化特別委員会



### 人事案件(敬称略)

- 三野町大見財産区管理委員の選任  
宝城 明・岩田 秀樹  
齋藤 満徳・森 義訓  
加賀宇由基・多田のぶ子  
香川 秋訓
- 三野町下高瀬財産区管理委員の選任  
石井 勢三・真鍋 恵  
稲田 衛・関 隆夫  
関 博・綾 武幸  
関 正男

### 人権擁護委員候補者の推薦

- 関 雅美(三野町下高瀬)
- 神原和代(財田町財田中)

### 議員提出議案

- 市議会会議規則の一部改正  
議員が出産のため欠席届をあらかじめ提出することができると改正するもの

### 意見書

- 憲法違反である安保関連法の慎重審議を求める意見書

## \* 永年勤続表彰 \*

### 全国市議会議長会表彰

\*町議会議員歴の1/2を勤続年数に通算

- 一般表彰(4年以上正副議長)  
(町議会正副議長歴の1/2を通算、ただし市議会正副議長歴2年以上)  
香川 努

- 一般表彰(10年以上在職)  
金子辰男 岩田秀樹 詫間政司  
川北善伴 大平敏弘

### 四国市議会議長会表彰

\*町議会議員歴の1/2を勤続年数に通算

- 特別表彰(16年以上在職)  
宝城 明 横山 強 為広員史  
瀧本文子

- 特別表彰(12年以上在職)  
鴨田 偕 三木秀樹 城中利文

- 一般表彰(3年以上正副議長)  
(町議会正副議長歴の1/2を通算、ただし市議会正副議長歴2年以上)  
香川 努

議案名等	議員名			議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	賛	反	議決結果		岩田 秀樹	大平 敏弘	市川 洋介	石井 勢三	横山 強	水本真奈美	込山 文吉	瀧本 文子	浜口 恭行	丸戸 研二	川北 善伴	詫間 政司	三木 秀樹	西山 彰人	金子 辰男	鴨田 偕	三宅 静雄	為広 員史	城中 利文	近藤 久志	香川 努	宝城 明	
専決処分の承認を求めることについて (税条例等の一部改正)	20	1	承		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部改正)	20	1	承		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (介護保険条例の一部改正)	21	0	承		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (和解)	21	0	承		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度一般会計補正予算(第1号)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域子育て支援センター条例の制定について	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部改正について	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (三豊市)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (辻財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (河内財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (財田大野財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (神田財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (大見財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (下高瀬財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (桑山財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川各市町総合事務組合規約の一部変更について (比地大財産区)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の買入れについて	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について (平成27年度山本地区新設統合小学校(仮称)プール・付 帯施設棟及び外構工事)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について (三野津中学校特別校舎棟ほか改築(建築)工事)	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について (父母ヶ浜海水浴場施設)	16	4	可		●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について (つたじま海水浴場施設及びキャンプ場)	17	2	可		●	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三野町大見財産区管理委員の選任について	19	0	同	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除
三野町下高瀬財産区管理委員の選任について	20	0	同	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について (関 雅美)	21	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について (神原 和代)	21	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会会議規則の一部改正について	21	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
憲法違反である安保関連法案の慎重審議を求める意見書 について	9	11	否		○	○	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退

※認：認定 可：可決 否：否決 承：承認 同：同意 採：採択 不：不採択 継続：継続審査  
○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

来て・見て・聞いて・語ろう！

## 議会報告会を開催

平成24年12月に三豊市議会基本条例が制定され、平成25年4月から施行されています。

この中の大きな柱である「市民に開かれた議会」を目指して、2日間にわたり4会場で議会報告会を開催しました。

報告会では、3月定例会で審議した平成27年度予算を中心とした予算特別委員会からの報告に加え、3常任委員会(総務教育・建設経済・民生)、三観広域行政組合議会、三豊総合病院企業団議会の報告を行い、引き続き参加者の皆さまからのご質問やご意見を伺いました。

ここでは、報告会会場で頂いたご意見などを、抜粋して紹介いたします。



### 議会報告会のめざすもの

- 議会が議決した事項を、地域に出向き、市民皆さまに直接報告・説明を行います。
- その上で市民のご意見やご要望を参考に、監視機能の強化や、政策提言に取り組んでいきます。

高瀬会場  
5月30日(土)午後7時～  
市役所西館大会議室



参加者

敬老会事業が地域によって差が出るのはおかしいと思う。

議員

敬老会を開催した場合に、申請により開催した地区へ、1人2,200円の補助がある。ご意見をいただいたので、検討したい。

参加者

高瀬天然温泉の指定管理について、市民と一緒にイベントをするなどの項目があったと思うが、実現していない。それと、緑ヶ丘体育館は料金が高く、使い勝手が悪いので何とかならないか。

議員

指定管理においては、指定管理者と市当局は話し合いの場をもっていると思う。実態を調査し、後日報告させていただきます。

参加者

火葬場について、北部は残り、南部は建設中だが、高瀬町の火葬場はどうなるのか。

議員

現在4カ所の火葬場を使っている。南部と北部に火葬場を建設する。完成は30年に予定している。高瀬の火葬場は使用しない計画となっている。

参加者

ごみ処理の問題はいつなっているのか。

議員

ごみは資源であるとの理念に立ち、焼却しないシステムの構築を目指し、市は24年に協定を結び民営化方式を進めている。稼働は28年度中と明記されている。議会としては、民間活力という初めての手法なので調査、研究、協議を重ねながら進めている。

財田会場  
5月30日(土)午後7時～  
財田町公民館



参加者

新設小学校の用地拡張について要望書を出している。前向きに検討してもらいたい。また、旧小学校にある記念碑や銅像なども移転先の検討に入っていたらきたい。支所を活用して、自然史博物館を作ってほしい。

議員

まだ十分協議が着詰まっていない。議会の中でも協議しよう。

参加者

火事・急病など緊急時には、琴平・まんのう側からの方が近い地域がある。行政区の統合ができないのか。宝山湖の使用料を変更したが、利用者はどう変化したのか。また介護保険料が上がったが、他の市町と比べてどうなのか。

議員

広域連携は、今の段階では難しい課題がある。研究課題として議会として十分研究していく。宝山湖の使用料は50%の減額をしたが、子どもたちの使用についてはその上に減免規定がある。今は、そのことを広く知っていただくよう広報する段階である。介護保険料は4,850円から5,400円に引き上げられた。今後の施設利用者の増加を見込んで施設充実費を加味した金額となっている。

参加者

運動公園に学校をつくることにより、一般の利用と学校の利用が逆転している。工夫はしているのか。財田は教育振興会があるが、山本は全部新しい学校、財田はプールやグラウンドは共有である。教育予算は全部公費で賄うという意気込みを説明しよう。

議員

教育委員会から示されているのは、子どもたちの安心安全を確保するため、一般利用の運動公園と学校を区分するという方向である。具体的には、フェンスなども使用するようである。しかし、完全な排除ではなく開放された学校とはいつあるべきかについて、順次、議会にも説明があると思う。教育振興会の活動は、歴史的背景がある。当然、教育費で賄うべき費用に好意が寄せられている形だが、この部分は、議会でも踏み込んだ審議は必要ではないか。

豊中会場  
5月31日(日)午後7時～  
市民交流センター



参加者

住宅リフォーム事業の予約が抽選になった。補正予算を組んでほしいと思う。

議員

抽選は厳正に行っている。今のところ補正予算の予定はない。

参加者

空き家に関する法律が成立した。これを三豊市はどのように活用するのか。実際に、放っておくと倒壊の危険性がある家屋もある。他にも相当あると思う。どのように考えているのか。

議員

国会を法案が通ったということで、執行部と協議しながら進めたいと思う。

参加者

水族館について、市長がテレビに出て、明日からでも作るのかという話だが、どうなっているのか。

議員

場所が、三豊市の海の玄関といっていて、土地の有効活用を目的として、それにふさわしい整備を検討していた。昨年9月議会で土地取得の議案を議決した。現在用地については、無償でお貸しするといっていて、検討しよう。

参加者

高瀬南部保育所、火葬場、学校統合について、市民の意見を聞いて反映しているのか。学校給食センター民営化反対の立場で署名活動をした。議会の中では何の反映もされていない。議員は、市民の意見を反映させる立場でないか。

議員

毎回議論しながらやっているが、意見がもっと反映されるよう、貴重な意見としてお伺いしよう。

**議員** 調査検討をおこない報告させていただきます。

**参加者** 空き家バンクだが、解体、運搬費用に目が向いていない。また粟島は離島で、重機を使い、解体することができない。予算を割いていただきたい。

**議員** 議員個々、いろいろな思いがある。合併特例債は現在約半分を大型建設事業などに使っているが、今後とも慎重に活用する。

**参加者** 合併10年を経過して、現状はどうなっているのか、分析するいい機会だ。合併特例債は7割が交付税措置されるといわれているが、国民からすれば10割税金ではないのか。


**議員** 讃岐造船の跡地は、安心安全のための高潮、津波対策、海の玄関口にふさわしい景観づくり・賑わいづくりなどを視野に市として土地を取得したものである。水族館構想は、この事業の一環で検討したもの。用地については、無償貸与を検討し、民間活力により実現するよう調査・検討・協議を重ねている。

**参加者** 水族館を三豊市に誘致することについては、護岸工事という話も出ていたが、どのような状況になっているのか。

**議員** 持ち帰って検討させていただきます。

**参加者** 「たかせ温泉」は三豊市の公共施設で民間に委託している。その中のマッサージの仕事をしている方は無資格だと思いがそれてよいのか。

**説明会場**  
5月31日(日)午後7時～  
マリンウェーブ



## 参加者からのアンケート

4会場参加者総数 100  
アンケート総数 87

内容はどうでしたか。



資料(映像)等はどうでしたか



報告会の時間はどうでしたか



本日の報告会全体としての満足度はどうでしたか



貴重なご意見は、今後の議会審議、政策提案などに生かしていきたいと考えております。今回の議会報告会開催にあたり、運営・内容など反省すべき点が多くありました。皆さまから頂きましたご意見を真摯に受け止め、今後、一人でも多くの皆さまにご参加いただけるような報告会にしていきたいと思っております。また、検討事項については、今後、議会だよりおよび市議会HPで報告させていただきます。

## 込山 文吉 議員

### 劇場法に基づくマリンウェブの活用について

**問** マリンウェブを横断的組織で活性化する必要がありますのではないか。また、小中学校連携の上、自主講演に取り組み、文化芸術教育の充実に取り組みべきではないか。

**答** 観光協会・国際交流協会が施設内にあり、文化芸術観光の相互交流を図り、賑わい創出する仕組みを作っているが、全横断的組織についても重要な課題と考えている。

市の未来への投資として、子どもたちや若い世代を育成するため、文化活動を行う団体を支援するなど、音育プロジェクトの活用で環境の充実を図る。

### 道の駅を活用した小さな拠点

**問** 道の駅を中心に6次産業化に取り組みむべきではないか。WiFiの整備などで観光案内機能を持たせ情報発信力強化に取り組みむべきではないか。

**答** 32年度に新猪ノ鼻トンネル開通も予定されており、施設を有効に活用し人口減少対策の拠点となる

よう、事業展開に取り組みたい。

まち・ひと・しごと創生戦略の中で有効な施策を検討

していく。情報環境整備も県の補助制度の活用などで設置事業者の支援をすることで普及拡大に努めたい。

### 地域貢献企業支援事業の取り組み

**問** 地域に根差して事業活動に取り組み地域企業を評価認定する地域貢献企業認定制度を導入してはどうか。

**答** 三豊市ものづくり大賞があるが認定制度も支援施策の中に組み込み検討していく。

### 公職選挙法の解釈について

**問** 政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止などについて市民にどのように啓発するのか。期日前投票の宣誓書を入場券の裏に印刷してはどうか。

**答** 広報みやまなどを活用して啓発に努める。宣誓書は、今後の法改正や他市の動向を勘案しながら引き続き検討する。



▲道の駅「たからだの里さいた」

## 横山 強 議員

### 動物愛護について

**問** 当市における、年間捨て犬、捨て猫の捕獲数と捕獲後の処理について問う。

**答** 犬362頭、猫154頭で捕獲後の処理は、西讃保健所に引き渡す。収容した動物は、譲渡ボランティアの方と県が協働し、飼い主を見つけることに努めている。



▲動物愛護について

**問** 捨て犬、捨て猫の減少対策と、今後、飼い主を斡旋する取り組みについて施策を問う。

**答** 昨年度より、犬、猫にマイクロチップなどを装着し、所有者明示の実施率の向上など、効果的な啓発方法を検討するモデル事業を実施している。今後、新しい飼い主を見つける取り組みは県と連携し、人とペットが共存できる社会の実現に向け、殺処分される不幸な動物が、一頭でも減少するよう努力したい。

### 西香川病院について

**問** これまで、2回、一部の、夜間宿直の勤務に対し、どのような是正管理運営と、質問とし、当局は、適正な運営管理を依頼したと、答弁だが、どのような適正管理運営をしたかを問う。

**答** 質問の件、内容などについて改めて聞き取りなどを行い、改めて適正な管理運営について依頼した。

**問** 当局から施設管理委託させている側に、是正を求めるに当たって口頭で聞き流す程度でよいのか。是正を申し入れ、受け入れは、文書で交わすのが妥当ではないのか。

**答** 他の指定管理施設も含む今回のような問題が発生しても当局は、文書で申し入れしないとしないのか。

**問** 宿直の勤務時間は、夕方5時30分から早朝8時30分までとなっているが、宿直の医師は開業医が宿直なので若干遅れたり、自院の都合で、早く帰る時もある、と聞いている。関係者以外の宿泊は理由が無い限り認めない。また、それなりにその施設で適正に管理していただきたい。



▲西香川病院について



浜口 恭行 議員

総合窓口化への取り組みについて

**問** 住民が関連する複数の手続きを1カ所の窓口で集中して行う、総合窓口化が全国の自治体で増えているが、総合窓口化や、市民目線の窓口サービス、来庁者に優しい窓口、ワンストップサービスの検討などについて、当局の考えを聞きたい。

**答** 来庁者に優しい窓口では総合案内を設けており、この総合案内業務については、この6月から体制をさらに強化し、今までの市民課職員に加え、各部署の若手職員21人に新たに兼務辞令を出して配置し、充実に努めている。

各課の窓口担当職員や支所職員は、



▲三豊市役所の総合案内の窓口

直接市民に対応しているので、サービス向上に対する意識も高く、問題点などをよく把握している。ご指摘の点と合わせて、現場の意見や提案を一つずつ実現し、限られた条件下ではあるが、ワンストップサービスの改善に努め、皆さまに納得していただける行政サービスの向上に、努めて行きたいと考えている。

サルコペニア肥満と高齢者の健康づくりについて

**問** メタボとはタイプが異なる、サルコペニア肥満（加齢で筋肉量が減り、脂肪が増える状態）への関心が高まっている。体重や体形が変わらないため気づきにくい状態になり、生活習慣病などが進行しやすくなるが、当局のサルコペニア肥満の認識と、高齢者への予防への取り組みをどう考えているのかを聞きたい。

**答** サルコペニア肥満の予防と周知については、現在健康づくりの施策として、女性のための簡単運動講座、ピラティス、脂肪とれとれ教室、健康づくり講座、栄養教室など、市民参加の講座や教室を定期的開催している。今後も各種健康教室、介護予防教室などサルコペニア肥満に対応した教室を継続的に取り入れて行きたい。

丸戸 研二 議員

まち・ひと・しごと創生事業の進め方について

**問** 市としてのビジョンを示す必要がありはしないか。事業の方向性、市民参加の進め方、ハード事業の考え方、そして採択に至らなかった市民チャレンジの扱いを示せ。

**答** 私、市長が本部長となり、庁内推進本部を設置して進めており、市民代表などによる委員会も開催した。6月には新たな交付金制度が示される予定であり、議会の意見も聞いて方向性を決定したい。交付金を充てできなかった事業も、総合戦略に掲載する全ての事業を実施する。

小学校統合への準備と統合後の課題について

**問** 通学支援の計画を示せ。

**答** スクールバスは、新しい学校から半径2キロを超える児童または自治会を対象とする。運行経路とバス停は現在案を作成している。

**問** 財田町総合運動公園の市民利用と学校管理の計画を示せ。

**答** 共有エリアは多目的グラウンドとプールで、小学校の運動場、プールとして併用し、平日は児童の安全を第一に、一般の方の利用はご遠慮いただくこととしている。



▲建設が進む財田小学校

**問** 市民要望への対応を示せ。

**答** 新財田小学校の進入路に隣接した土地の購入は、新設小学校の運営状況などを見極めながら、議会の意見も聞いて検討したい。

**問** 旧小学校に点在する記念碑などの取り扱い方針を示せ。

**答** 新設小学校内のスペースは限られており、現段階では旧の小学校に現状のまま留め置く。今後は、跡地利用の方向性を見極めつつ、状況によっては地域の有識者などの意見も聞きながら検討する。

その他の質問

○公共施設の再編について  
○広域間相互応援体制について

瀧本 文子 議員

## 指定管理者制度について

**問** 466ある公共施設の再配置計画は喫緊の課題である。今後指定管理者による施設の管理運営が適正に行われているか、自治体として一層厳しいチェックが求められる。①「指定管理者候補者審査委員会」委員の増員の考えはあるか。②公正・中立性を保つために、市主体の「第三者委員会」を設置し、外部の専門家に委託し、財務・労働分野の点検を含めた評価が必要ではないか。

**答** 施設管理課は4半期ごとと年度終了時にモニタリング、評価を行っている。①審査委員は今後女性も検討する。②指定管理者主体の「第三者評価」と別に、今後市主体



▲指定管理制度を導入しているマリンウェーブ

で「第三者評価委員会(仮称)」を設ける。

## マイナンバー制度について

**問** この制度は国民一人一人に12桁番号を割り当て、所得、税金、年金など個人情報とその番号で一元管理するもの。特に医療や戸籍情報は秘匿性の高い個人情報で、漏えいすれば、甚大な被害が起こることが懸念される。“なりすまし”も、諸外国は犯罪の温床になっている。住民情報にどう責任を持つか自治体の役割だと考えるが。

**答** 外部からの侵入や攻撃、なりすましなどが急増している。セキュリティ対策を今以上に行い、国と連携を図りながら、安心・安全なネットワーク環境の構築に取り組む。なりすましは身分証明書など本人確認を行い、万全の態勢で実施していく。

## 市立図書館について

**問** 市内7館の施設面の格差解消・集約と、市民が求める魅力ある図書館作りをどう進めるか、急務の課題である。計画の進捗状況を伺う。

**答** 公共施設の再配置計画や市民の合意形成を軸に、施設の複合化、統廃合などを視野にいれながら、早急に結論を出したい。

詫間 政司 議員

## 三観圏域における障害者(児)福祉の現状と課題および対策について

**問** 特別支援学校卒業後の進路は、適性や希望により企業などへの就職や支援事業所への通所、施設入所がある。三観圏域では支援事業所の定員が不足しており、他圏域の施設へ通所せざるを得ない現状だ。今後も西部養護学校などからの卒業生や、法改正でこれまで引きこもり状態であった中年齢の方も利用が増えます。ます事業所不足と定員不足は現実であり、また在校生の放課後等デイサービスの不足も深刻だ。方策を



▲加工食品の下ごしらえ

問う。次に、遊休公共施設の福祉事業目的の条件付き公募と、保護者主体の事業所経営から社会性のある事業運営形態(ソーシャルビジネス)となれる条件整備について問う。

**答** これからの社会は、障害のある人全てが、地域社会の中でともに暮らし、ともに活動ができるような取り組みが求められている。障害福祉計画第4期では、自立支援法から総合支援法への改正に伴い、27年度から3カ年のサービスの見込み量の見直しをした。日中活動対応の事業所数は、利用者と事業者間の調整などで対応しており、利用者が事業所を選択できない傾向が見受けられ、充足しているとはいえない。さらに、放課後等デイサービスは、NPO法人や養護学校など関係機関と協議していく方向であり、福祉事業目的による公共施設の利用募集も含め、関係部局と協議する。社会性のある事業運営形態となる条件整備は、第4期計画で施設や病院からの地域移行など、地域全体で支える体制の構築を目指している。また、地域生活支援拠点の整備および基幹相談支援センターの設置を掲げており、三観地域自立支援協議会で協議を始めている。ソーシャルビジネス出現を期待し、支援していきたい。

西山 彰人 議員

学校給食センターや保育所の民間委託について



▲新築し、調理・配送などが民間に委託される南部学校給食センター

**問** 委託の問題点、たとえば、委託先企業の不祥事や事故などによる営業停止時の対応、不足している保育士が委託先企業で不足しないのか、また、民間保育所をやめて三豊市の臨時職員として働く人たちの実態などを市民に説明したのかを伺う。

**答** 何回も保護者説明会を行っている。また委託先の事故などは、まず市が責任を負い、その後、業者が賠償責任を明確にする。保育士は全国的に不足しているので協議する。民間をやめ臨時職員として働く職員については再度確認する。

**問** 詫間町内の保育所も民間委託するならば市民の声を聞かないのか。

のか。

**答** 松崎か詫間について早急に進めるよう指示を出している。保育所の行く先は民設民営である。

介護保険体制の進捗状況について

**問** 生活支援コーディネーターの職務は介護保険業務に精通し、ボランティア団体やいきいきサロンなど市内の状況を把握している人材でなければならぬとし、社協に委託するので人的な情報も提供しているとしていたが、社協では行政無線で臨時職員として募集していた。そんな職員が本当に介護保険に精通しているのか。理解不足の職員では市民が被害をこうむるがどうか。

**答** 社協全体で取り組み、10月ごろ開催の研修会に参加する予定である。

保育所の制度改革に伴う問題点について

**問** 保育所の制度に変更があり、混乱があると聞いたが、どのような混乱か伺う。

**答** 4月から子ども子育て新制度が実施され、入所要件が「保育に欠ける子」から「保育の必要な子」となり、就職活動や就学などの項目が追加され、必要量が増大し、保育士不足と相まって、7月以降の追加受け入れが困難となっている。

水本 真奈美 議員

緊急輸送道路や幹線道路の空洞調査を

**問** 3月定例会で

防災減災のため道路の空洞調査を質問した。



▲空洞発見(路面下10cm)

その後4月に空洞調査会社による市道約3kmをサンプル的に調査し2カ所の空洞有りとの報告があったので、6月初旬に実際に空洞を発見し緊急工事を行った。今後の空洞調査の取り組みを問う。

**答** 道路陥没は重大な事故、通行障害につながる。来年度、交付金活用し市道の緊急輸送道路を実施したいと考える。公共交通路や通行量の多い重要な路線については緊急輸送路の調査結果も参考に検討する。

防災減災対策について

**問** 防災会議に女性委員登用拡大を。

**答** 現在13人中女性は1人であるが、女性の意見反映は重要であるの

で登用拡大にむけて3割程度の目標で人選を進めている。

**問** 防災マップの活用を。

**答** 防災マップの説明や避難行動、危険場所の確認など各地域単位で出前講座を実施していく。公民館や自治会館掲示用の防災マップの拡大版を作成配布を検討する。運動会に防災競技を取り入れる提案は啓発活動として何が有効なのか検討する。

**問** 家具転倒防止対策について。

**答** 仁尾小学校の子どもから大人へ地域につながる防災教育の取り組みは23年9月の時点で17・3%から24年1月現在で84・6%と飛躍的に家具転倒防止設置率が向上している。地域の子どもと大人が一体となった防災活動を推進していく。また、器具の購入助成など他市の取り組みも参考に検討する。

**問** 防災カード(緊急時安心カード)について伺う。

**答** 障がい者や要援護者が持病や個人情報を記載し携帯するカードは発災後の避難行動や安否確認、救助活動の際に非常に有効なカードと考える。他市の内容なども参考に検討する。

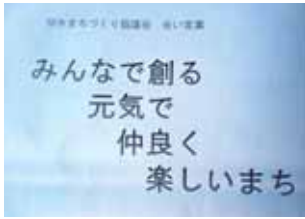
## 大平 敏弘 議員

**住民自治・自主自立へ行政はもっと汗を**

**問** 公共施設の使用料など負担増の協議が進んでいると聞かすが、もう少し執行部が各校区ごとに、市の現状、財政状況の将来の事など、住民協議会などの場づくりを考えてはどうか。

**答** 使用料などの全市的な統一基準を設けることは難しく行政内部では統一化の協議を繰り返し行ってきたが、現実的な実施のめどは現在のところ立っていない。

また、住民協議会などの場づくりから理解を得てはということだが、三豊市の場合にはまちづくり推進隊をはじめ、自治会や公民館などのそれぞれの目的を達成するための「実践機関」である。地方自治法や合併特例法で規定する地域自治区や、多くの自治



▲まちづくりのころ!?

体で行われているような充て職を寄せ集めたコミュニケーション協議会、住民協議会のような「協議機関」は三豊市には存在していない。したがって、新しく住民協議会などの協議機関を設け、その一部の人たちだけ意見交換をするのではなく、広く市民に呼びかけ、誰でも参加できる形で住民対話集会や意見交換会など開催しながら、広く市民の理解を求めていきたいと考えている。

### 海外視察 今後の思い

**問** フィリピン視察へ、人・物の交流の足がかりになればと副市長と議員が行ったと聞かすが、今後の思いは。

**答** 今後新たな諸外国等々の市および他の地域との交流は、民間レベル、民間活カレベルでの経済交流を主体に進めていくべきだと私は思っている。今回の視察についても、あくまでも私的なものであるので、答弁は控えさせていただきます。

### その他の質問

- 観光行政と観光協会
- まちづくり推進隊と既存組織の連携
- 自治会・市民の要望対応より透明化

## 金子 辰 男 議員

**廃校予定校舎の利活用について**

**問** 廃校予定校舎の方向性や今後の予定の状況はどうなっているのか。

**答** 行政目的が終了した施設は市が維持管理費は負担しない。一定期間教育委員会が所管するが、準備が整い次第、説明会を開催しご意見をたまわりたい。

**問** 施設の再利用を実現させるための問題は何か。解決策をどのように考えているのか。

**答** 廃校の管理費が全額利用者であること。地域の利用提案を最優先に取り組む。説明会も開催していきたい。

**軍人墓地の管理状況と今後の維持管理について**

**問** 市内の軍人墓地管理状況、今後の管理および墓地周辺、墓地への道路整備など、どのように考えているのか。

**答** 軍人墓地34カ所、忠魂社、慰霊碑など20カ所ある。遺族会などで維持管理している。終戦まで陸軍省海軍省にて管理、戦後廃止され国

から地方自治体に貸与譲渡された。所有や管理が一樣でなく全国的な問題となっている。遺族会などからの要望を踏まえ国に働きかけていく。市が直接、軍人墓地の維持管理を行うのは厳しい状況である。遺族会への補助は議会と協力し今後も継続する。

墓地周辺および道路整備は道路の管理区分、状況を踏まえ対応する。



▲市内軍人墓地

### マイナンバー制度について

**問** マイナンバー制度の開始を控えているのか。住民の利便性はどうか。

**答** 広報9月号配布時、マイナンバー制度に関する説明冊子を全世帯に配布する。将来的には民間企業も含めた情報保有機関、連携拡大を図る予定となっている。社会保障、税、災害対策分野において利用され市民の方は添付書類などが削減、軽減され便利になる。

市川 洋介 議員

まちづくり推進隊について

**問** 市民約6万8千人に対し0・76%の520人の会員しかいないがこの点について、また公民館事業との連携についてお尋ねする。

**答** 会員の数の大小が市民活動をはかる指標ではないが行政としての周知が不足していたのかもしれない。今後は、市からもそれぞれのまちづくり推進隊の活動をお伝えしていきたいと考えている。公民館は長い歴史の中で、実践と経験をたくさん持っている。まちづくり推進隊と公民館の連携は図れていると理解している。連携強化は、市民活動の一層の活発化につながるので、今後もしっかり連携を強めていきたいと考えている。

土曜日教育支援体制構築事業

**問** 昨年度実施したモデル地区の実績がどうであったか。その実績を踏まえて、どのようなシステムで実施するのか。三豊市国際交流協会との連携があるのかお尋ねする。

**答** 仁尾町三野町をモデル地区で小学校4年生を対象として少人数

編成で実施。本年は市内全小学校4年生を対象に募集し、年間10回を予定している。協会との連携は、登録している方やアメリカ人英語教師に協力いただきながら実施していきたい。

**問** 双方とも市長が長をしているようだが、補助金を出す側と受け取る側が同一人物についてお尋ねする。

社会福祉協議会、シルバー人材センターについて

**答** 私が現状で、二つとも民間でやるべきだと、今後出来るだけ早い機会に交代していきたいと思っている。



社会教育団体連絡協議会について

**問** 激変緩和措置で出来た外郭団体であるのに、市の臨時職員が予算化されて地域により、格差がでてくるのか。

**答** 市が雇用した臨時職が事務にあたるのは、不自然な状況であると認識している。今まで以上に、運営に注視していきたいと思っている。

岩田 秀樹 議員

保育所待機児童防止対策の取組みは！

**問** 入所可能数に対し、困難が想定され、保育士の不足が大きな理由である。大きい新施設が完成するが対策はどうか。県は、保育士確保に向け、支援策を決めている。現在の基準、0・1・2歳児の職員配置を見直すべき。

**答** 保育の必要量による認定をうけ、保育所などの施設利用を申請する流れとなった。今後、入所を希望する0歳児などが増え、年度途中の待機児童数が増えるの見込まれる。

公立保育所は、6月1日現在1、012人を受け入れ、入所申し込みの期限は入所希望月の2カ月前までとなっている。この時点では待機児童はいないが、特に0歳児の受け入れに関して、総合的な見地から保育士確保対策にむけて検討を行っている。職員の配置基準については1歳児を職員1人当たり5人までとし県内他市のよりも手厚い。



▲三野保育所運動会風景

住宅リフォーム助成制度の状況

**問** 住環境の向上と市内事業者の受注機会の拡大による経済活性化を目的として、6、000万円の当初予算で行なわれた。

**答** 昨年度は、当初予算2、400万円、申込件数339件、補助金合計5、800万円、補助対象工事費5億6、000万円であった。本年度の状況は。

**問** 本年度の申込状況は、申込件数290件（抽選後10件辞退）、補助金交付予定額約5、000万円であった。総務教育常任委員会、抽選方式、予算の範囲内での執行、補正対応はしないと報告している。

その他の質問

- マイナンバー制度
- 公共図書館はどうあるべきか
- 国民健康保険について

鴨田 偕 議員

## 地方創生について

**問** 国は、今、鳴り物入りで地方創生を提唱し、地方が主役の真の創生をうたい文句に、まち・ひと・しごと創生法を公布し、それに伴い、各地方自治体においても地方版総合戦略の策定が義務づけられてきた。全国の末端の地方自治体が生き残りをかけて、それぞれ知恵を絞る中、我が三豊市は、この大きなうねりに乗り、どのような施策事業をもって国の交付金などを最大限に活用して他の自治体との差別化を図り、将来にわたって持続する三豊市として生き残っていくこうとしているのか、市長に伺う。

**答** 現在、国の上乗せ交付金を受けるために、10月末までに、三豊市人口ビジョンおよび三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて事務を進めているところである。今回の総合戦略では、27年度から31年度までの5年間の計画を策定することとなっており、本市においても、この地方創生の波に乗って、重点分野である雇用、定住、子育てを人口減少抑制戦略として、行政の

集約と拠点化、地域間の連携を人口減少社会適応戦略と捉え、それらに対応する事業を選定していきたい。

## 三豊市の医療計画について

**問** 日ごろ市民が心配するのは病気にかかったときのことである。三豊総合病院は、地域中核施設病院として地域住民に対して質の高い医療を提供するとともに、救急医療にも貢献していると思われるが、市立の2病院との今後の位置づけと運営について伺う。

**答** 地域包括ケアの流れでもあることから市立の2病院体制メリットを生かして、三豊市立の医療機関として地域包括ケアシステムネットワークの構築に向けて、中心的役割を果たせるように考えている。



▲三豊総合病院

三木 秀樹 議員

## 憲法違反の海外派兵を議論む安保関連法案と「財源」の影響を聞く

**問** 日本に攻撃がなくても、米国軍の防衛に自衛隊を派兵する。そのために自衛隊法の「専守防衛」を破棄する改正、捕虜に関する法案もあり、世界でノーベル賞候補といわれる平和憲法を無視し、戦争時のような法案だ。また、この法案には「財源」提示がなく、安倍政権になって地方分権の流れが、中央集権化に逆流の兆候がある中、米国追従の外交を追求し続ける限り、現憲法問題もあるが、この「財源問題」が私たちがだけでなく、子々孫々に降りかかると思うが市長の見解は。

**答** 国家権力を憲法の拘束のもとに置く立憲主義は大切だ。今、歴史的に見れば大変重要な岐路にある。決定した内閣は問題を起こさなくても、時間経過とともに決定した結果を都合よく利用する、一旦走り出すと誰にも止められない、これが大戦の教訓だ。財政問題も戦前・中の赤字国債の近代史からも、財政赤字の蓄積は、どこかの世代に必ず残酷な結果を与える。いつか来た道は絶対

に行ってはならない。

## 永康病院・西香川病院の統合「方針」案はなぜ、困難か。現状を聞く

**問** 専門家が審議した市の地域医療のあり方検討委員会から、三豊市の将来を見越して出された両病院の統合を柱とする方針案が出されて、3年が経過。「困難である」との声も聞こえるが、明確に議会の委員会にも協議もなく、対応が不鮮明だ。困難の判断根拠など現況を聞きたい。

**答** 関係当該病院などの内部協議は、昨年4月以降。西香川病院は、一般病棟を全く持たない療養病棟と認知症専門の精神病棟に特化した病院として成功し多面から評価をうけている。永康病院は、三豊総合病院の後方支援病院として総合病院の患者受け入れを行うなど両病院ですみ分けが出来ている。方針案（統合）は、この現況の崩壊等をまねくことから困難と判断。



▲永康病院と西香川病院

## 総務教育常任委員会

6月24日開催の総務教育常任委員会には、15議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 27年度一般会計補正予算関係部分

**問** 県委託事業「心の交流事業」は具体的にどのような事業なのか。

**答** 山本、財田地区では来年度の統合に向けて学校や学年の枠を超えての交流を予定している。詫間小学校ではいじめ不登校、暴力行為などの未然防止に、仁尾小学校は曾保小学校との交流を考えている。

#### 動産の買い入れについて

**問** 情報機器の更新については、サーバや端末は何年前の導入か。また更新の基準はあるのか。

**答** サーバ類については22年度に買い入れたものの更新である。パソコン関係は、今回更新する端末は10年を過ぎたものや、4年のものもあるが、それぞれの状況を見極めながら更新は随時行うが、端末などの更新の一定の基準を検討したい。

以上、各議案

とも慎重な審査により原案どおり可決した。



▲市役所内の事務用パソコン

## 建設経済常任委員会

6月23日開催の建設経済常任委員会には、1議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 27年度一般会計補正予算関係部分

質疑なし

農林水産業費、林道維持管理事業の委託料の補正であり説明を受けたのち、可決すべきものと決した。

### 現場視察報告

当委員会所管各課の現場視察を5月26日に行つた。視察現場は左表のとおりであり、それぞれの事業の重要性を実感した。

#### 現場視察箇所一覧

栗島港高潮対策工事
上新田漁港施設機能強化事業（栗島）
本村漁港高潮対策工事（志々島）
市道摺木友信線道路改築工事（豊中町）
豊中町浄水場管理棟更新工事
鳥獣対策さる檻設置現場



▲本村漁港（志々島）



▲市道摺木友信線（豊中町）

## 民生常任委員会

6月24日開催の民生常任委員会には8議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 27年度一般会計補正予算関係部分

**問** 子育て応援商品券支給事業の対象者は3,460人おり2,900人分は産業政策課で繰り越されている。今回560人分の補正予算が子育て支援課で上がっているが事業主体はどこか。

**答** 予算措置としての繰越分は産業政策課にあるが事業の事務は補正予算と併せて子育て支援課が執行して実施する。

#### 地域子育て支援センター条例について

**問** この条例は支援センターの位置づけが目的か。活動状況と職員が常駐しているのかを聞く。

**答** 旧高瀬町条例を廃止し、要綱運用をしていた豊中、仁尾支援センターも含めた3施設の設置条例を制定する。家庭保育を行っている家庭での負担軽減などを目的として0歳〜3歳未満の乳幼児中心に3施設で235人が登録している。職員は、基本的に保育士を3〜4人配置しており、施設に常駐している。

以上、各議案とも

慎重な審査により原案どおり可決した。



▲豊中地域子育て支援センター

# 三豊市に住んでみて

## 伝えること

豊中町 藤田 薫さん

まちを歩いてみると常日頃、車からみている風景とは何かが違います。

視線の高さや見る角度や“風”の具合によって、いろんな表情をみせます。

急激な変化を求める都会文明。対峙する地方の文化は、都会文明の誘惑に勝てず日々崩されているように、これまで感じていました。潮目は変わったように思います。

〈明るい豊かな社会〉とはどんな社会なのか考える機会がこれまでもありましたが、最近、各人の価値観の多様性をすごく感じるようになってきました。そして、対峙するのではなく足元にある美しいもの、おいしいものに素直に向き合うひとたちとの関わりが多くなっ

てきました。そこに、楽しむエッセンスを加えると豊かな時間が流れ、笑顔がうまれます。いろんな活動に参加して、ちゃんと伝えることの難しさ、楽しさも経験しました。

これからも、いろんな方たちとかかわりながら、足元にある宝さがしを楽しみながら行い、世界に発信をしていきます。ちゃんと伝えることで、たくさんの方に訪問してもらい交流が広がるといいなと思います。また、若い人たちにもちゃんと伝えることで、この街が好きになってもらいたいですね。



▲いなり運動公園で開催した「暮らし広場」

## 瀬戸内の絶景を

### 眺めて

仁尾町 坂本 幸司さん

仁尾に移住して、3年となります。

もともとは県外出身の私ですが、山と海に囲まれた風光明媚な景色とふれあつた人々の温かさに魅了され、長女の誕生に合せて、この地に居を構えることを決めました。我が家の目の前に広がる瀬戸内海の美しさ、特に遠浅の海に沈む夕日は絶景で、感動すら覚えます。自然に囲まれながらも街までは車で数分というロケーションも非常に便利です。

そして何よりも良かったと実感していることが、地域の皆さんがとても親切な方々ばかりで、家族のように支えてくださることです。おかげさまで、お祭りや運動会などをはじめ、さまざま

まなイベント事にも楽しく参加させていただいています。

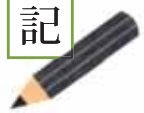
また地域ぐるみで学校を見守っていくという心強い風習があり、安心して子育てに取り組めます。

娘にとっては、正に三豊が“ふるさと”になります。親として、住民の一人として、この三豊のさまざまな素晴らしいところをしっかりと未来に繋げていくお手伝いが出来ればと思います。



▲仁尾町曾保地区の山頂からの眺望

## 編集後記



連日厳しい暑さが続いておりませんが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回は、6月定例会の一般質問・審議結果報告を中心にその要点を編集しております。また4カ所で開催された「第三回議会報告会」の席上で頂いたご意見と今後どう生かしていくかについて、限られたスペースではありますが掲載しております。そして、なお一層手に取ってもらいやすく・読みやすく・分かりやすい「議会だより」づくりを進めてまいります。

さらなる、議会の活性化と改革のための取り組みを継続します。

### 議会広報委員会

- 委員長 水本真奈美
- 副委員長 石井 勢三
- 委員 三宅 静雄
- 西山 彰人
- 丸戸 研二
- 浜口 恭行
- 岩田 秀樹

